

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）  
分担研究報告書

静岡県における2次医療圏を単位とした肝炎医療 Co の配置と活動評価

研究分担者 玄田拓哉 順天堂大学医学部附属静岡病院消化器内科 教授  
研究協力者 渡邊京子 順天堂大学医学部附属静岡病院 肝疾患相談支援センター  
研究協力者 川口真希子 順天堂大学医学部附属静岡病院 肝疾患相談支援センター  
研究協力者 大高宏文 順天堂大学医学部附属静岡病院 肝疾患相談支援センター

**研究要旨:** 肝炎医療コーディネーター (Co) の静岡県内 2 次医療圏別の養成数と所属先、活動率を調査した。その結果、静岡県内の 2 次医療圏では肝炎医療 Co の配置・活動に差があり、その主な要因は地域肝疾患連携拠点病院の有無と考えられた。このような 2 次医療圏では肝疾患かかりつけ医所属の肝炎医療 Co の活動が重要と考えられるが、実際にはこのカテゴリーに所属する肝炎医療 Co の活動率は低く、今後のサポートが必要な状況と考えられた。

**A. 研究目的**

静岡県における2次医療圏を単位とした肝炎医療コーディネーター (Co) の配置と活動状況を調査する。

**B. 研究方法**

令和3年度静岡県肝炎医療 Co 活動報告を元に、所属先と活動状況を解析した。

**C. 研究結果**

静岡県では西部、中東遠、志太榛原、静岡、富士、駿東田方、熱海伊東、賀茂の8つの2次医療圏が設定されている。静岡県肝炎推進対策計画では、各2次医療圏において肝疾患の検査・治療を担う地域肝疾患診療連携拠点病院を原則として1か所以上設置し、地域肝疾患連携拠点病院・肝疾患かかりつけ医・一般医療機関が協力、連携して肝炎対策を推進することが掲げられている。この仕組みの中で、肝炎医療 Co はそれぞれの医療機関に配置され、円滑な肝炎医療を推進することが期待されている。しかし、実際には静岡県の8つの2次医療圏のうち加茂圏域において地域肝疾患連携拠点病院が整備されていなかった。また、圏域別の肝炎医療 Co 数を調査では、賀茂圏域において肝炎医療 Co 数が最も少ないことが判明した(図1)。また、関連は不明だが、この圏域において肝疾患死亡率高いことも判明した。

一方、肝炎医療 Co 所属先として最多のものは地域拠点病院であり、全肝炎医療 Co の45%がこのカテゴリーの所属先に勤務していた。また、各所属先カテゴリーでの活動状況を調査したところ、活動率が最も高い所属先カテゴリーは県肝疾患

拠点病院であり、二番目に高いカテゴリーが地域肝疾患拠点病院であった。一方、かかりつけ医所属の肝炎医療 Co の活動率は他の所属先カテゴリーと比較して最も低かった。

**D. 考 察**

現在静岡県では地域肝疾患連携拠点病院を中心に肝炎医療 Co が養成されている。しかし、地域肝疾患連携拠点病院の存在しない2次医療圏が存在し、この圏域では肝炎医療 Co の養成数が少ないことが判明した。また、肝疾患かかりつけ医に所属する肝炎医療 Co の活動率が低いことから、このカテゴリーでの肝炎医療 Co 活動をサポートすることの重要性が示唆された。特に、地域肝疾患連携拠点病院の存在しない2次医療圏では、このカテゴリーの肝炎医療 Co の活動が重要と考えられた。

**E. 結 論**

静岡県内の2次医療圏では肝炎医療 Co の配置・活動に差があり、その主な要因は地域肝疾患連携拠点病院の有無と考えられる。このような2次医療圏では肝疾患かかりつけ医所属の肝炎医療 Co の活動が重要と考えられる。

**F. 健康危険情報**

なし

**G. 研究発表**

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

渡邊京子, 川口真希子, 大高宏文, 玄田拓哉. 当院における院内受診勧奨の取組 現状と課題. 第107回日本消化器病学会総会. 東京 2021. 4. 17.

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得 なし
2. 実用新案登録 なし
3. その他 なし

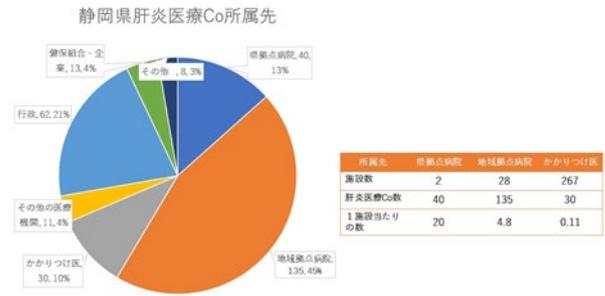


図2 静岡県肝炎医療 Co 所属先分布

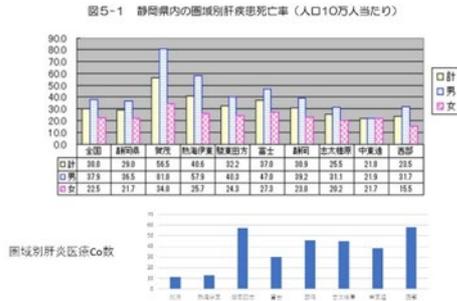


図1 各2次医療圏別肝炎医療 Co 数と肝疾患死亡率

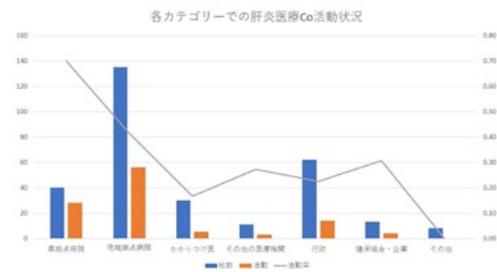


図3 肝炎医療 Co 勤務先カテゴリ別養成数、活動数、活動率